

記者発表資料
平成21年10月9日
 丹青社・トイズ・アクティオ共同事業体
 横浜人形の家 広報担当 岩堀祐一
 TEL:045-671-9361
 財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー
 経営部長 池田加津男
 TEL:045-221-2111

横浜経済記者 各位

横浜開港150周年記念展

人形たちと開港150周年

～横浜人形の家 名品セレクション～

2009/10/10(土)～11/29(日) ※10/19(月)は休館日となります。

幕末以来の異文化発信の地、横浜にある「横浜人形の家」では、江戸期の人形から人間国宝 平田郷陽ら現代の創作人形にいたる日本の人形及び、ビスクドールや民族人形など海外の人形を所蔵し、鑑賞に加えて、人形を通じた親善交流の輪が世界に広がることも目的としています。

開港150周年の今年、開港以来の時代の変遷を軸に「人形の家」の特色あるコレクションを下記の3つのパートに分けて紹介いたします。多様な人形達が織り成す世界と共に、時代や人形の変遷をお楽しみください。

I 「横浜人形の家」ってどんな所？
 人形を家の成り立ちや収蔵品の特色など人形の家について紹介します。



II 「日本の人形」
 人形の種類や制作技術、工法などが出揃った江戸期、開港後、文明開化の荒波を受けつつその技術や伝統を継承した明治・大正期、職人から作家へと飛躍を遂げる昭和期・・・、江戸期の御所人形から、昭和期の人間国宝・平田郷陽らの作品等、日本の人形を時代ごとに展示します。

III 「海外の人形」
 ぬいぐるみやビスクドール、地域色豊かな民族人形など日本の人形とはまた違った表情を見せる個性的な人形たちを紹介します。



裏面もご覧ください



横浜開港150周年記念展

「人形たちと開港150周年」

- 期 間 2009/10/10(土)～11/29(日)※10/19(月)は休館日となります。
- 場 所 横浜人形の家 3F 企画展示室
横浜市中区山下町18 TEL:045-671-9361
- 入館料 おとな:800円 こども:200円(小学生未満無料)
※常設展のみご覧の方は おとな500円 こども150円
- 開館時間 AM10:00～PM6:30(入館はPM6:00まで)
- 主 催 横浜人形の家

○「横浜人形の家」展示のご案内

ビスクドール 展

～ファッションのメッセンジャーたち

19世紀中頃に主にフランス・ドイツで製作され、今では西洋のアンティークドールの代名詞といわれるビスクドール。人形としての美しさに加え、その衣裳や髪型は当時流行のファッションを伝えています。今回は、年代やタイプ別に、ブリュ・プレベティなど、約20点展示し、その魅力を紹介いたします。

○会期：2009年9月18日(金)～11月 1日(日)

○会場：2・3階 常設展示トピックコーナー



横浜アジアンウェーブ2009

アジア人形展

日メコン交流年の今年、メコン地域諸国（カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス）を中心にアジアのどこかひょうきんで色鮮やかな民族人形を特集します！

○会期：2009年10月1日(木)～10月31日(土) 10:00～18:30

※10月19日(月)休館

○会場：2階 常設展示ワールドフェスティバル

歌仙人形展

～百人一首雅の世界～

時代を超えて愛される日本の代表的古典文学「百人一首」。その歌人たち百体を模型制作のプロフェッショナル集団「ヤマネ」が日本で始めて制作、展示します。

○会期：2009年10月20日(火)～11月23日(月) 10:00～18:30

○会場：2階多目的室



○入館料：大人(高校生以上)500円、子供(小・中高生)150円

※上記の他、特別展示もご覧になる場合は 大人800円、子供200円

横浜人形の家 館長 石坂浩二 プロテューサー 北原照久

<http://www.museum.or.jp/yokohama-doll-museum/>